第４学年２組　国際科学習指導案

日　時　平成３０年１１月１３日（火）

場　所　体育館

対　象　第４学年２組　２５名

指導者　HRT　　山谷　千裕 　（T1）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　ALT 　 Suzanne Ross（T2）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　支援員　松山　加代

１　単元名　Let’s　Try ! 2　Unit 7　What do you want?

２　CAN－DOリスト

|  |
| --- |
| サポートを受けて、買い物場面で欲しい物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり答えたりする。 |

３　単元目標

・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。

　　【知識及び技能】

・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介する。

【思考力、判断力、表現力等】

・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

４　単元について

1. 関連する学習指導要領（Ｈ２９．３版）における領域別目標

|  |  |
| --- | --- |
| 聞くこと | イ　ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 |
| 話すこと（やり取り） | ウ　サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。 |

（２）指導にあたって

本単元は、「オリジナル○○をつくろう。」というテーマのもと、自分の好みやお客様の

好みに合わせた料理を作るために、その材料を集めるという場面を国際科で取り上げる。

集めた材料でできたオリジナル○○をお楽しみ会で作って食べるという活動を設定するこ

とで、子どもたちのモチベーションがよりアップし、意欲的に取り組むようになると考え

ている。

また、「パフェ」や「ピザ」の材料を集める活動をさせる際は、“May I help you?” “Here

you are.” “Thank you.”などの他者とのコミュニケーションを円滑に進めるための英語表

現を取り入れる。食材を集めるために、積極的に友達と関わる中で、友達のよさに気付か

せ、目的を達成できた喜びを味わわせたいと考えたからである。さらに、本単元では知的

好奇心をかき立てるような活動にするために、３年生までの英語活動の際に聞き慣れた「既

習の果物や野菜を表す単語」に加え、「教科書にはないが、自分たちが取り入れたい未習の

単語」にも触れる。このような言語活動を構成し、十分な交流・定着の時間を確保するこ

とで、児童が新出の単語・表現について理解できるようにする。

本時の活動では、児童が分からない言葉が出てきたときに“~in English?”を使いなが

ら、ALT との関わりをもつことで「未知」を「既知」とする場面を設定する。また、「客」

の立場で聞こえるようにはっきりと話すこと（Clear voice）、「店員」の立場で相手の伝え

ようとしていることに耳を傾けること（Listen）を、状況に応じて使い分けが意識できる

よう指導を行っていく。

なお、指導計画については、Let’s Try!1での既習事項となっている言語材料に関わる十

分な理解に向け、Let’s Try!2で示された時数よりも１時間増やし、６時間の指導計画を組

むこととした。

５　児童について

（１）児童の実態

　　　本校では平成２７年度から国際科に取り組んでいるため、本学級の児童も１年生のときから、国際科の授業を受けている。そのため、楽しみながら歌やチャンツ、キーワードゲームに参加できる児童が多い。英語に対する好奇心が旺盛で、英語を話したり、聞いたりすることも好きである。しかし、自分の意思や習得した表現を活用しながら相手に発信したり、相手が表現している内容について理解したりするほどのゆとりがないため、自信をもって発表することができない児童が見られる。

（２）実態調査から　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（Ｈ３０．５．１５実施）（人）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 質問 | 好き・思う | どちらかと言えば好き・思う | どちらかと言えば嫌い・思わない | 嫌い・思わない |
| １ | 国際科の授業は好きですか。 | ５ | １５ | ５ | ０ |
| ２ | どんな活動が好きですか。（複数選択可） | 歌（１０）チャンツ（７）ゲーム（１５）会話（１）聞く（３）外国のことを学習する（２）日本語とのちがいを知る（８） |
| ３ | 英語を聞いたり話したりすることが楽しいですか。 | ７ | １２ | ６ | ０ |
| どんな時に楽しいと感じますか。また、どんな時に楽しくないと感じますか。▲楽しくないと感じるとき | できなかったことを学習できたとき（２）話せたとき（５）歌っているとき（５）ゲームをしているとき（８）難しい勉強をしたとき（１）友達に質問するとき（２）▲話すとき（１）わからないとき（１） |
| ４ | 聞いたり話したりするとき、どんなことに気をつけていますか。 | 言葉遣い（２）発音（１４）日本語との違い（３）おしゃべりをしないでよく聞くこと（２） |
| ５ | 英語を書いてみたいと思いますか。 | ３ | １０ | ８ | ４ |
| ６ | 英語を読んでみたいと思いますか。 | ６ | ７ | ６ | ６ |
| ７ | 外国のことに興味はありますか。 | ８ | ３ | ７ | ７ |
| また、どんなことに興味をもっていますか。 | 相撲（１）サッカーチーム、選手（２）バスケットボールのチーム、選手（１）建物（１）食べ物（２）旅行（１）文化（１）イベント（１）ゲーム（１）言葉（２）風景（１） |
| ８ | 将来英語を使ってしてみたいことは何ですか。 | 外国の人と話す（６）海外選手にインタビュー（１）旅行（７）道案内（４）英語を教える（１）観光案内（１）接客（１） |

学級の７割以上の児童が、国際科の時間を好意的に捉えている。特に、歌やチャンツ、ゲ

ームに関しては意欲的に取り組んでいることがわかる。他にも、日本語との違いを知る活動

にも興味を示している児童が３割程度いる。しかし、楽しいと感じている割には、進んで話

そうとする児童は少ない。これは、言葉や内容を理解することが不十分なままで英語を話さ

なければならないという不安感が強いためであると考えられる。

そこで、本単元では、チャンツやペアによるSmall Talkで同じ表現を繰り返し使う活動を設定したり、様々な役柄を演じながらのコミュニケーション活動を設定したりして、十分慣れ親しんでいけるようにしたい。

　　　英語を書いたり読んだりすることに関しては、約半数の児童が興味をもっているものの、聞いたり話したりすることに比べると、興味関心は低い傾向にある。中学年という段階を踏

まえて、読み書きに関しては児童の負担が大きくならない程度に触れさせていきたい。

　　　外国のことに興味をもっている児童は半数以下だが、興味を示している児童は、コミュニ

ケーション活動を好意的に捉えているため、今後の授業の中でもコミュニケーション活動を

積極的に組み込んでいきたい。

６　研究主題との関連

|  |
| --- |
| 研究主題伝え合い　関わり合い　学び合う児童の育成～コミュニケーションを大切にした国際科の授業づくりを通して～ |

|  |
| --- |
| 研究仮説1. ペア・ワーク、グループ・ワークを授業の中に効果的に設定することで、伝え合う楽しさ、人と関わる楽しさを知り、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする児童が育つだろう。

（２）「単元ゴール」「活動目標」を明確にした実践を行うことで、児童の目的意識がはっきりし、意欲的で主体的な活動ができ、学びが深まっていくだろう。 |

（１）について・・・活動の場の工夫

買い物をしながらオリジナルピザを作るという活動を通して、児童同士が互いに質問した

り、意見を述べ合ったりする場を設定する。このように、必然性をもたせるような場を設定

することで、児童自らが課題をもちながらコミュニケーションを図るようになり、結果とし

て児童の「自分の思いを伝えることができた」「相手の思いを受け止めることができた」とい

う達成感につながっていく。

（２）について・・・目標設定の仕方

客と店員という設定のもと、基本的な表現を使いながら、食材を注文したり対応したりし

てオリジナルピザを作るという明確な目標に向かって活動する。立場による目標の違いは、

児童の意欲の継続を目的としている。また、コミュニケーションに必要な表現の使い分けに

ついては、伝え合うことの大切さに気付くことや、相手に配慮するということの意味を実感

させることをねらいとしている。

７　指導計画

（１）タスク（パフォーマンス課題）

|  |
| --- |
| 待ちに待ったクリスマス！お楽しみ会でおいしいものを作って食べるために、オリジナルメニューを考えて、それに必要な材料を集めよう！ |

　（２）単元計画（６時間扱い）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 目標 | 主な活動 | 主な表現及び言語材料 |
| １ | 食材の言い方や、名前の尋ね方、個数の尋ね方などの表現に慣れ親しむ。 | ・【Let’s Chant】Alphabet Chant(Unit6)・なにがあるかな。　　テキストを見て、知っている食材や個数を発表する。・【Let’s Watch and Think】 　世界の市場の様子を見て、世界の食材の種類を知る。 | What’s this?It’s a(食材).Do you like (食材)？Yes, I do./No, I don’t. I like(食材).How many?Here you are.Thank you.You’re welcome. |
| ２ | 食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 | ・【Activity 1】フルーツパフェを作る際のやりとりを聞いて理解する。　　指導者同士のやり取りを見たり、一緒に尋ねたり答えたりする。・【Let’s Chant】What do you want?・歌 Good bye song(３年Unit2) | Do you like (食材)？Yes, I do./ No, I don’t. I like（食材）.Do you have~?Yes, I do. / No, I don’t.~in English?What do you want?I want (食材), please.How many（食材）? |
| ３ | 欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 | ・【Let’s Chant】What do you want?・【Activity 1】　　ペアになり、やりとりをしてパフェを作る。・【Let’s Listen 1】 パフェの中身を紹介する音声を聞いて、線で結ぶ。 | Do you like (食材)？Yes, I do. / No, I don’t. Do you have~?Yes, I do. / No, I don’t.~in English?What do you want?I want (食材), please.How many（食材）?Here you are.Thank you. |
| ４ | フルーツパフェについて紹介したり、欲しい物を尋ねたり要求したりして、伝え合う。 | ・【Let’s Chant】What do you want?・【Activity 1】　　前時に作ったパフェを紹介し合う。　　新しい組み合わせでパフェを作る。・歌 Good bye song(３年Unit2) | This is my parfait.I like (食材),(食材),(食材)and(食材).Do you like this parfait?Yes, I do. /No, I don’t.~in English? What do you want?I want (食材), please.How many（食材）?Here you are.Thank you.You’re welcome. |
| ５本時 | 買い物の場面で、必要な食材についてのやり取りをしながら、オリジナルメニューを作ろうとしている。 | ・【Let’s Chant】What do you want?・【Let’s Listen 2】　　音声を聞いて、缶詰イラストと文字を線で結ぶ。・【Activity 2】　　どんなピザを作るかを考え、やり取りして食材を集めてオリジナルピザを作る。  | Do you like~?Yes, I do. / No, I don’t.~in English?May I help you?What do you want?I want (食材), please.How many（食材）?(個数),please.Sorry. Sold out. / Here you are.Thank you.You’re welcome. |
| ６ | 相手に配慮しながら、オリジナルピザを紹介しようとする。 | ・【Let’s Chant】What do you want?・【Activity 2】　　前時に作成したオリジナルピザを紹介する。・歌 Good bye song(３年Unit2) | This is my pizza.I like (食材), (食材),(食材)and(食材).Let’s guess this pizza’s name. |

８　本時の指導（５／６）

1. 目　 標

買い物の場面で、必要な食材についてのやり取りをしながら、オリジナルメニューを

作ろうとしている。

1. 評 　価

買い物の場面で、必要な食材についてのやり取りをしながら、オリジナルメニューを

作っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考力、判断力、表現力等】

1. モデル

|  |
| --- |
| S：May I help you?S：What do you want?C：I want (食材), please.S：How many（食材）?C：(個数), please.S：Sorry. Sold out. / Here you are.C：Thank you.S：You’re welcome. |

　※　店員　→　hop assistant　・　客 →　ustomer

（４）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 児童の活動 | 指導者の活動 | ○留意点◆評価【観点】（評価方法）☆支援 |
| HRT（T1） | ALT（T2） |
| あいさつ | １　あいさつをする。・Let’s start English class.・Hello, Ms. Yamaya, Ms. Suzanne and Ms. Matsuyama.・I’m fine/good/happy/sleepy /etc… ・It’s November 13.・It’s Tuesday.・It’s sunny/cloudy/rainy. | ・Everybody, stand up, please.・Hello, everybody.・OK. Thank you, sit down. | ・How are you~ ?・Three questions.・What is the date today?・What day is it ?・How is the weather? | ○時間帯によってあいさつに遣う言葉が違うことに気付かせながら指導を行う。○特別な支援を要する児童には、支援員が対応する。○日付、曜日、天気の質　問をし、月や日にち、曜日の言い方を指導する。 |
| 復習 | ２　チャンツ「What do you want?」をする。 | ・一緒にチャンツをする。 | ・一緒にチャンツをする。 | ○デジタル教材を使う。○機器の操作は支援員が行う。 |
| めあての確認 | ３　店員と客に分かれて、オリジナルピザをつくる。オリジナルピザを作ろう。 | ・野菜を使ってできる料理を想起させてピザ作りにつなげる。 |  | ○時間で区切り、店員（shop assistant）役と客(customer)役の両方を行うことを確認する。 |
| アクティビティ① | ４　音声を聞いて缶詰のイラストと文字を線で結ぶ。・Yes, I do. / No, I don’t.・食材の言い方を（食材）in English?　の表現を使ってALTに　尋ねる。 | ・音声を聞かせる前に、イラストの缶詰の野菜や果物が何かを児童と確認する。・Do you like~?・Connect the picture and the word with a line.・野菜以外にも具材として選びたいものがないか確認する。 | ・児童と一緒に英語で発話する。・Let’s Try!1で慣れ親しんだ野菜やLet’s Try!2で学習した新しい野菜を英語で発話する。・児童がピザの具材として選んだ野菜以外の食材についての英語の言い方を紹介する。 |  |
| アクティビティ② | ５　オリジナルピザに名前を付ける。・レッドピザ・イタリアンピザ・ほくほくピザ　等６　店員と客に分かれて、必要な食材についてのやりとりをしながら、オリジナルピザを作る。・May I help you?・What do you want?・I want (食材), please.・How many(食材)?・(個数), please.・Sorry. Sold out./Here you are.・Thank you.・You’re welcome.・やりとりで困ったことを出し合う。 | ・オリジナルピザに名前を付けさせる。・Let’s name your pizza.・ALTと一緒にデモンストレーション（店員役）をする。・May I help you?・What do you want?・How many(食材)?・Sorry. Sold out. / Here you are.・You’re welcome.・やりとりで手本になりそうな児童を紹介する。・困っているところを発表の中から取り上げて再度確認し、再スタートさせる。・That’s all for today. | ・HRTと一緒にデモンストレーション（客役）をする。・I want (食材), please.・(個数), please.・Thank you.・やりとりの手本を見せる。 | 〇オリジナルピザのイメージをもたせてから具材を選ばせる。（３種類、各種２個まで）〇店員は複数で、客は個人で活動させる。〇ピザの具材になりそうな野菜以外の食材については、予想できる範囲で準備（絵カード）しておく。また、その場で追加できるような白紙のカードも各店舗に５枚ずつ準備しておく。〇モデルとなる表現を黒板に掲示（役割ごとに色を変えて）する。〇注文の個数がそろわない場合は売り切れとして対応させる。〇客に商品の個数がわからないような陳列の仕方をする。◆買い物の場面で、必要な食材についてのやり取りをしながら、オリジナルメニューを作っている。【思考力、判断力、表現力等】（行動観察、ワークシート）☆HRTやALTがそばについて、やり取りを真似て言わせる。 |
| 振り返り | ７　本時の活動を振り返る。・Feed backシートに記入し、感想を発表する。 | ・今日の活動について２～３名に感想を求める。 |  | ○できるようになったことや難しかったこと、また、気付いたことなどについて発表させる。 |
| あいさつ | ８　あいさつをする。・Let’s finish English class.・Thank you，Ms. Yamaya， Ms. Suzanne and Ms. Matsuyama.・See you. | ・Thank you,everyone.・See you. | ・Thank you,everyone.・See you. |  |

９　提案事項

基本的な表現を繰り返させる場や状況を設定することで、友達や教師と積極的にコミュニ

ケーションを図ろうとするようになるのではないか。

１０　資料

【板書計画】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| オリジナルピザを作ろう。1. Greeting
2. Review

３．Today’s Goal４．Activity①５．Activity②６．Feed Back７．Greetingmushroomsonions店員→hop assistantgreen pepperscornsｓｓtomatoes客 →ustomercarrotscabbagesS: May I help you?cucumbers

|  |
| --- |
| オリジナルピザを作ろう |
| （　）番　名前（　　　　　　　） |
|  |
| My pizza’s name |
| 「　　　　　　　　ピザ　」 |

S: What do you want?　　 potatoesC: I want (食材),please.　　S: How many(食材)?C: (個数), please.　　　　　　S: Sorry. Sold out./ Here you are.C: Thank you.S: You’re welcome.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　選べる食材　→　３種類・それぞれ２こまで　　 |

|  |
| --- |
| オリジナルピザを作ろう |
| 　　　　　　　（　　）番　名前（　　　　　　　　） |
|  |
| My pizza’s name |
| 「　　　　　　　　　　　　　　　ピザ　」 |

【ワークシート】

　【机配置図】

|  |
| --- |
| 黒　　板　　　　　 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ★ Shop D | * Shop A
 | ☆ Shop A | ☆ Shop C | ☆ Shop C |
| * Shop D
 | * Shop D
 | ☆ Shop B | ☆ Shop B | ☆ Shop D | ☆ Shop D |
| * Shop F
 | * Shop E
 | * Shop A
 | * Shop A
 | ☆ Shop E | ☆ Shop E |
| * Shop F
 | * Shop F
 | * Shop B
 | * Shop B
 | ☆ Shop F | ☆ Shop F |
|  |  | * Shop C
 | * Shop C
 |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Shop A | Shop B | Shop C | Shop D | Shop E | Shop F |

☆マーク　前半店員役 ★マーク　後半店員役